

論文審査の要旨

報告番号	修 第 1296 号	氏 名	神田 夏美
論文審査担当者	主査 弘中 祥司 副査 鈴木 久義 副査 船津 敬弘		
(論文審査の要旨)			
<p>矯正治療は年単位の治療期間を要する。その治療期間を考慮すれば、患者の口腔清掃実行度（スキル）と口腔衛生管理のモチベーションに配慮しながら、歯科医師・歯科衛生士による専門的な口腔管理が必要となる。また矯正装置の多くは、歯面に装着し固定するものであるため、物理的な不潔域が増加し、う蝕や歯肉炎（歯周炎）のリスクが高まることは容易に想像できる。そのため、矯正治療と並行して口腔内環境を良好に保つことが重要となる。今回の研究は矯正装置を有する患者の来院日に合わせて専門的なクリーニングや口腔衛生指導を行うことを行い、専門的な口腔ケアによって予防できる因子について検討を行っている。</p> <p>リスク評価に基づくう蝕予防管理方法によって、来院患者のみならず、歯科衛生士自身の口腔管理がより容易になることがアウトカムになっている。最終的に本研究は、矯正装置装着中の患者に対して、CAMBRA（アメリカにおける口腔管理方法）のリスク項目の簡便な評価を検討するうえで重要となる因子分析の検討が目的となっており、主査・副査の質問事項に於いて文献を用いた適切な回答が得られた。</p> <p>以上の審査結果から、本論文は学術的価値があり、修士（保健医療学）の学位授与に値するものと判断した。</p>			